

競技上の注意

- 1 現行の日本卓球ルールを適用して実施する。
- 2 1ゲーム1本、5ゲームマッチのトーナメント方式による。
ただし、小学生以下の種目においては、総当たりリーグ戦、または第1ステージ（3～4名の3ゲームマッチでのリーグ戦）と第2ステージ（5ゲームマッチでのトーナメント戦）方式とする。
- 3 原則として敗者制とする。ただし、第1試合については、運営側から割り当てる。リーグ戦では、試合のない選手が審判を行う。
- 4 ラバーの貼替え及びラケット検査について
 - (1) ラバーの貼替えは所定の場所以外では行わないこと。揮発性有機溶剤を含む接着剤を用いたラバーの貼替えは、一切行ってはならない。
 - (2) ラバーの欠け、はみ出しが許容レベル（2mm）を超える場合には、そのラケットの使用が許可されない場合がある。
 - (3) ボランティアチェックを受け付けるので、希望者は本部の審判長席まで持参すること。
- 5 用具及び服装について
 - (1) ボールは、日本卓球協会公認球「ニッタク製、40ミリ、ホワイト、スリースタープラスチック球(クリーン)」を使用する。
 - (2) ラバー、ラケット及び服装は、ルールに従った正規のものであること。なお、疑問のある場合は必ず審判長に報告し、判断を仰ぐこと。
 - (3) ゼッケンは、今年度の（公財）日本卓球協会指定のものを着用すること。
- 6 タイムアウト制は、ベスト4決定戦から適用する。
- 7 アドバイザー（コーチ）は一人とし、はじめから入っているか、途中から入ることは可能とする。また、2台以上の掛け持ちも可能とするが、別の者と交代はできない（ベンチを空席にしておき、複数台を一人のアドバイザーが行き来することを可能とする）。ゲーム間のアドバイスは、1分間を遵守すること。
- 8 試合前の練習時間は、1分までとする。
- 9 競技領域及びその付近での携帯電話等通信機器（通信可能な腕時計を含む）の使用を禁止する。
- 10 カメラ・ビデオの撮影は自己のプレーを撮影する目的に限定する。スマートフォン・タブレット等で録画をする場合は、三脚等を使用し、外部との通信を行うことを禁止する。ただし、他コートの試合の妨げとなる場合には、使用を認めないことがある。
- 11 進行に関する注意事項
試合はタイムテーブルを目安に行うが、中学、高校の種目では、事前にステージ上に集合してもらうため、放送や連絡に十分注意を払うこと。

諸連絡

- 12 競技場での水分補給は、フタ付きの容器（ペットボトルなど）であれば可能である。観覧席での飲食は可能だがゴミは持ち帰ること。
- 13 感染症対策は各自行うこと。
- 14 競技が終了した種目から、表彰を行います。